

発表案件

1 「第1回 港(みなと)おもてなしフォーラム」の開催について

佐渡市では、官民連携した「佐渡市クルーズ船誘致連携会議」を平成26年度から立上げ、クルーズ客船の誘致促進に向けて、受入事業やセールス活動を展開しております。今年度のクルーズ客船の寄港は、過去最高の8回となりました。

この度、「第1回 港(みなと)おもてなしフォーラム」を開催し、今年度の佐渡市の取組み状況の報告、他港の事例等を講演いただき、来年度の展開に繋げていきたいと考えています。

このフォーラムは、11月30日水曜日、午後4時30分から、両津のあいぼーと佐渡で開催いたします。どなたでも参加いただけますので、大勢の方のお越しをお待ちしております。

2 秋の火災予防運動のお知らせ

新潟県内では、昨日11月9日から県内一斉に「秋の火災予防運動」が始まっています。11月15日までの期間中は、各消防署および消防団各方面隊による夜間防火広報や、一般家庭への防火訪問を行っています。

また、島内小学生から募集した防火ポスターの入賞作品を11月9日から市内各地で巡回展示するとともに、最優秀賞の表彰式を11月14日に消防本部にておこないます。

これからの季節、空気が乾燥し火災が発生しやすくなり、佐渡市内でも、10月28日、31日と2件の住宅火災が発生しています。これから冬に向かい暖房器具等の使用も増えますので、火の取り扱いには十分に注意するとともに、住宅用火災報知(警報)器の適切な設置や、キッチンと作動するかどうかの確認を行ってください。

火災を未然に防ぐためにどんなところを注意すべきなのか、今一度ご家族内で話し合いいただき、火災予防に努めていただきたいと思います。

3 生物多様性佐渡戦略推進フォーラムを開催します

生物多様性佐渡戦略推進フォーラムは、11月27日、日曜日の午後1時30分から、新穂のトキのむら元気館を会場に開催いたします。

佐渡市では、「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」を平成24年度に策定し、それ以来、生物多様性への理解を深めていただくため、毎年11月を「生物多様性佐渡戦略PR月間」として、PR活動を推進しております。

今回のフォーラムは、「国連生物多様性の10年日本委員会」生物多様性リーダーの一人です。タレントのルー大柴さんをお招きし、「生きものとトゥギャザー」と題して、トークショーを行っていただきます。

また、佐渡生きもの語りコンテストに入賞した、川柳や短歌、イラストなどの作品展示や表彰も行いますので、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

なお、入場料は無料ですが、申込が必要ですので11月24日までに市役所の農業政策室へ

連絡をお願いします。

#### 4 地産地消月間の取り組みについて

佐渡市では、毎年11月を地産地消月間として位置づけ、「生産者と消費者を結ぶ交流」を進める取り組みを行っています。

はじめに紹介する「食べんかさ・のまんかさキャンペーン」は、佐渡産品に貼付けてあるポイントシールを、11月末までに25ポイント貯めると、市指定の燃えるゴミ袋10枚と交換できるキャンペーンであります。

また、ポイントを貯めた台紙は、この後ご紹介する地産地消フェスタの会場へお持ちいただくと、抽選会にも参加いただけることになります。

次に、11月19日（土）にサンテラ佐渡スーパーアリーナで開催する『佐渡市地産地消フェスタ』をご紹介します。例年、参加型のイベントを開催しておりますが、今年は佐渡牛乳を千本飲み干し、その空パックで「道遊の割戸」を組み立てるイベントを行います。このほか、「佐渡の特産品が当たる抽選会」や「佐渡まるごとふれあい市」、「食育クイズ」など、盛りだくさんの内容となっています。

また、「佐渡工業会」による、市内のものづくりを紹介するコーナー、お子様向けのものづくり体験ブースも用意しております。

今回は「佐渡市環境フェア」も同時開催します。地産地消活動とエコ活動の両方が楽しめる1日となっておりますので、ご家族やご近所お誘い合わせてご来場いただければと思います。

#### 事前質問

事前質問の提出はありませんでした

#### 質疑応答

##### (1) 「第1回 港(みなと)おもてなしフォーラム」の開催について

なし

##### (2) 秋の火災予防運動のお知らせ

記者

火災が増えているということで、この運動は非常に効果はあるんですが、毎年同じような事を繰り返しても、市民への浸透というのは難しいんだと思いますね。そのあたりどうかと言うことと、消防車両による防火パレードは短時間の印象があって、動きながらというのはわかるわけですから複数回やるとかですね、交通の問題があっても趣旨はわかると思いますので、広くわかるような工夫も必要ではないかと思うんですが。

消防長

ご指摘のとおりマンネリ化を防ぐために、どうやったら皆さんにアピールできるか考えて

いきたいと思います。

**(3) 生物多様性佐渡戦略推進フォーラムを開催します**

なし

**(4) 地産地消月間の取り組みについて**

なし

**その他の質問**

記者

温泉の説明会、大体終わったようですが、各会場でお年寄りとか憩いの場がなくなるとか、存続の声がほとんどだったかと思うんですけど、これを受けた市長の感想と今後の対策とどうか考えている事があるのかお聞きしたいんですけど

市長

今回の説明会は、何とかいくつかの温泉は存続させたいという部分を持って、市民の皆さまのご意見・要望等をしっかり聞こうと言うことで開催させていただいて7箇所全部終えたわけですね。かなり関心の高い問題で、生活にも密着している部分もありますので、かなり強い要望、存続へのご意見をいただきました。それを踏まえて佐渡市としてどのような形であれば存続をさせられるかという考えをまとめて、12月議会に提出して議員の皆さんとも検討していきたいと考えています。

記者

何カ所くらい存続と考えていますか

市長

何カ所とは言えない。潟上温泉の建物の不具合も発生したり、想定外のところも出てきていますので、修繕にかかる費用等の調査も急いでやっている最中なので、材料が出そろった上で最終的にはこちらで固めて皆さんにもお伝えしたいと思っています。

記者

予想したと思うんですけど、かなりお年寄りが温泉を憩いの場でもあるし、健康の面からも大切なものを残して欲しいということをあらためて強く感じたということですか

市長

もちろんそうですし、最初から感じておりますし、佐渡の公共温泉・日帰り温泉を全て無くそうということで説明会を始めたわけではありませんので、何とかどういう工夫ができるかということでご意見も伺いながらと始めたわけでありますから、スタート前から重々感じています。

記者

関連して、潟上温泉に関して、説明会で配った資料ですと市側の方針としては小規模な修繕を除き、修繕については市で対応するという説明でした、仮に潟上が存続することになっ

た場合、かなり莫大な費用が掛かりそうということになると市が費用を負担するということは変わらない？

市長

湧上温泉に限らず、市が持ち主の施設で民間に業務委託・運営委託しているところについては、小規模修繕以外の部分については市が全て責任をもって修理するという契約になっていますので、湧上温泉だけの問題でなく、民間委託の温泉については全部同じ契約内容になっています。

~~~~~

記者

庁舎問題ですが、9億円の自主財源と言っていた部分で合併特例債の使用についても使い道は決めているんですか？庁舎以外に

市長

合併特例債については使い道を何にというのではなく、現状（合併特例債の）限度額一杯（を使うと）の従来計画でしたので、それが庁舎建設をしないとなればその分の枠は空きます。ただ、その分について全量ではないかも知れませんが、限度額からあぶれていた合併特例債に対応できる事業もありますのでその辺の入れ込みも含めて調整するという事です。

記者

調整中という事

市長

あぶれているものの内容は全部把握していますし

記者

大体使い道は

市長

限度額フルフルになるかは別ですけど

記者

どういう方向に使うとか、まだ具体的じゃない

市長

例えば一部体育館の解体とか、30年度、要するに31年3月以降、31年度以降に後倒ししていたものもいくつかありましたので

~~~~~

記者

真野観光案内所ってありますね、ミニ独立国ができてミニ独立国の案内所ということで当時全国的に名が知れ渡った、それが今閉鎖するということですよね、観光関係者に聞いてみると市の観光担当課がそういうことを打ち出したので、我々はいろいろ検討したもののその方針が変わらないから、来た人数も少ないので仕方がないと、非常に残念だと。世界遺産を目指す上ではこれから観光客が増えていこうと、位置的に中央の場所として活用が考えられる大事な所と業者は考えている。ところが、観光課はそうではなくて人数が少なければ、

活用されてなければそれで良いんだということなんですけど、流れからいくと非常に水を差すようなものですから、来年チャレンジするのであれば、閉鎖というのは1年2年延ばしても良いのではないかと思うんですけど

市長

市の観光担当課が指示したとは聞いていないんですが

### 3 資産プロモーション室長

真野中央支部のことだと思うんですが、市の指示ということでは無いんですが、今の来場者数、年間で200～300人とカウントされています。通年を通して案内所を開けているコストと来場者については確かに問題になってくるころだと思うんですが、かたや地域の人からは存続を望んだりする声を聞いておりますので、うまく運用ができるかどうかというところは地域と相談しながら考えていきたいと思っています。検討中ということです。

市長

補足しますと、先日地元の方から私のところへも要望が来ました。あそこ（観光案内所）の運用計画は全部観光協会ですので、“観光協会とちゃんと意見交換の場をもってください、観光協会側にもその話し合いの場をもつように伝えます”というお答えをしています。

記者

関係者によると、観光担当課の人たちも案内所に顔を出すことはほとんど無い。“パンフレットを置いておいてそのまま”のやり方を続けているが、かつての賑わいというのはあそこを中心に情報発信基地だったんですね。ふるさと創生の1億円事業でも関係者が視察に来て実現したという大事なところですね。それが、だんだんそうではなくなってくる。ということはやはり、世界遺産を考えるのであれば、この間“ブラタモリ”が来ましたが、そういった写真を展示するとか、今まで佐渡でも寅さんとかいろんな物がありましたよね。ああいったものを紹介するとか活用することが考えられるですよ。しかも場所が中央でしょ、あそこから金山へ行けとかゴールドパークへ行けとかいろんな細かいことができるし、あそこの職員も専門的な人ですよ。そういう人の活用を今度閉鎖したら両津へやれば良いんだということになると、佐渡のPRをして行くには非常に大事なところであるということを見ると、市の担当課としてももう少し親身になって観光協会と話し合いながら進めるべきではなかったかと関係者が言っているわけですね。私もそう思うんです。それは早急にすぐに閉じないで今後考えるというやり方にして欲しいという声を言いますけどね、いかがですか。

### 3 資産プロモーション室長

まず人がたくさんよってくれることと言うのが大前提ですので、工夫次第でできる事もあるかも知れませんが、今後協議を深めて良い活用ができるかななどを検討したいと思います。

記者

もう一つ言えば、どうしてもやむを得ない場所であっても、新潟交通さんをお願いする方法もある。だから、いろんなことを考えながら、アイデアを募りながらやっていくことをした方が、やはり市民が主役だと思うんですよ。

### 3 資産プロモーション室長

今は観光協会直営の観光案内所ということになるんですが、運営の仕方みたいなところも工夫できるのか多角的に検討することをご理解ください。

~~~~~

記者

先月知事選で新しい知事が誕生しましたが、三浦市長は対立候補の応援に入っていましたけども、米山知事が就任してどんなふうに見られていますか。

市長

どんなふうというか、選挙は選挙で新知事が誕生したわけですから、今度は新しい知事とどうやって連携していくか、佐渡もたくさん県とご相談しながらこれまでの部分で抱えている懸案を解消しなきゃいけないものもかなりあります。その意味ではどうやって新知事と連動、協力していけるかっていうふうに進むのが当然のことですし、知事もスケジュールが立て込んでいるようなので、1日も早く直接お会いできるようにいくつかのルートからお願いもしています。

記者

直接会われていないということは、電話でもやり取りは

市長

まだないです。

記者

前仰ったように、佐渡の懸案というとどんなところを一緒にやっていきたいとか重要な部分で何か

市長

直近では世界遺産がらみのところも、来年国内推薦を受けるられるかというのは本当に大きな勝負になります。それと、停滞している空港問題の今後、佐渡汽船の航路・運賃も含めた問題等々いろいろ抱えているものはありますし、先ほど発表したクルーズ船の着岸環境の整備などいろいろお願いしながら連動していかなきゃならないものは抱えておりますので、その辺のところをしっかり話しをしてどれからやっていただけるか、まず優先順位をどう付けるかということも一緒に話し合わせていただきたいと思います。

記者

それと、今回知事選では柏崎原発の再稼働が一つ焦点になっていて、どちらかというより慎重な姿勢を持っていたのが米山さんだと思いますけど、三浦市長はこれまでも原発の再稼働についてはどちらかという反対のスタンスとされていますけど、そこに期待する部分はありますか

市長

それは米山さんは原発再稼働させないと訴えて県民の理解を得たわけですが、一方で森さんも東京電力に対して安全協定書を結べとか数年前から動いたり、原発に対する慎重な考え方というのは森さんもかなり強く持っていた方です。私は当初から言わせてもらっているとおり、基本スタンスとしてはこの島の環境を考えると原発の再稼働は反対でありますし、その辺のところでは新知事の考え方に近い部分はあると思いますが、いずれにしても新知事と国側と今後どのようなやり取りになるのかもはっきり見極めながら対応していくことでしかないと思います。

~~~~~

記者

国レベルですから難しいですが、トランプさんが大統領になって、防衛上のことを考えると佐渡にも基地がありますからそういう意味では何も関係無いという訳じゃないと思いますが、どのような想いですか

市長

トランプさんは暴言王とかいろいろ言われてきて、言っていることもかなりのことを今まで言ってきましたけど、昨日の勝利確定後の会見等を見ても非常にオーソドックスな会見をしていますし、実際に大統領に就任してからどのようなものを打ち出してくるか、全く予想もできない。言っていたことを全部やるとも思えませんし、そんな極端に変わる事はないかなと予測はしていますが、何とも言えません。